

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関、事務所に掲げ共有している			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は出来ていたが、コロナ禍以降、出来ていない	コロナ禍以降出来ないのは仕方ないと思うが、地方際等で出来ていると思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	参加は少ないが、2ヶ月に1回話し合いを行い意見を頂いている。	2ヶ月に1回開催して状況報告し、意見交換が出来ている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議にも参加して頂き事業所の実情報告やケアプラン提出している	会議にも参加している。ケアプラン提出もしているということなので、出来ていると思う。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修参加や3か月に1回の勉強会を行いケアに取り込んでいる		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議録や資料を見せてもらい取り組んでいると思う。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	6か月に1回勉強会にて事例検討し、防止に努めている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議録、資料、今回導入の見守りカメラで防止出来ると思う。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見人制度を利用する利用者はいるが、職員は学ぶ機会があまりなく理解している職員は少ない			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本管理者が対応している。きちんと説明し理解、納得を得ている			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関に意見箱を設置している。また、推進会議、面会時に確認している		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時での確認や運営推進会議での報告や意見交換で、反映されていると思う。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のミーティングや、スタッフ会またその都度話を聞きより良い支援や事業所の姿等話している			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成長シートを取り入れ、取り組み姿勢や成果を評価出来るよう取り組んでおり、環境整備の予算等も理解頂いている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本社が行っている事なので分からないが、説明を聞いてほぼ出来ているのではないかと。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に勉強会を開いたり、外部研修に参加出来るようにしている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来ていると思う。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の成長支援会議や他法人との連絡会、地域密着型サービス協会への加入等の取り組みがある			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者1人ひとりに歴史があり料理の仕方、祭り、季節の行事等教えてもらうことで感謝の言葉を伝えている			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	たまに面会に来られる方もある、敬老の日のプレゼントを持って来られる地区もある	地区によって、違いはあるが、最近では、施設入所の方には、敬老の日のプレゼントはしていない。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	声掛けの工夫をしているが、希望や意向の把握は難しい。スタッフで話し合いながら支援している			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的なカンファレンス以外に日常的に本人及び面会時に家族の意見や思いを確認している	よく分からないが、運営推進会議での報告や役場の方の意見もあり、出来ていると思う。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議での報告やケアプラン提出もあり、出来ている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録に記載し、各自確認し印を押す。申し送りノートで情報共有し、支援に繋げている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプランに沿った記録と、送りノートでの情報共有をしているとの事なので、出来ていると思う。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフ間で情報交換しており変化がある場合は家族に報告し計画見直し必要であれば作成している	出来ていると思う。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地方際には来訪して頂き、楽しんでもらっている	地方際や獅子舞くらいしかないので出来ていると思う。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医の往診により支援出来ている。急変時にはドクターに連絡が取れ対応してもらえる			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	情報共有が出来ている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院関係者との情報共有は出来ていると思う。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 十分にできている B. ほぼできている	病院、家族と話し合い、共有出来ている		A. 十分にできている B. ほぼできている	

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない			C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化や、終末期のあり方について、どのようにしているかの説明を聞いて出来ていると思う。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変及び事故発生に対するマニュアル作成し周知している			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練は消防署も含め行っているが地域との協力体制は築けていない	なかなか難しいかもしれないが、案内を出して、見てもらおうと思う。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消防署も含めて訓練は出来ているので、自治会の方にも案内を出して参加して頂いたら良い。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の人権や、尊厳、プライバシーを守る研修を受け声掛けや態度に注意している		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来ていると思う。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者それぞれの生活のリズムを崩さないようその方に応じた習慣やリズムで対応している			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	温める食材を使用している。介護度も高く、出来る方は少ないがたまに野菜の皮むきをしたり、お膳を拭いてくれる方もいる		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護度が高くなって出来ない事が多いと思うが、簡単な作業でも出来る方にはしてもらっている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量、水分量のチェック表にて確認しながら確保している			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、口腔清潔の為の行動の支援をしている。義歯洗浄、歯磨き、うがい支援。口腔内残物の確認等		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来ていると思う。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表を利用しパターン、習慣を把握している。食事量、水分量、薬等の可能性の確認、場合によっては協力医への相談を行い改善に努めている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	どのようにして把握しているのかの説明を聞いて出来ていると思う。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の希望日に入浴出来るようにはしていないが、その日のタイミングに合わせて対応することはある			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活習慣や状態に応じて休息や、昼寝等で心身を休める時間が取れるようにしている			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬剤情報をいつでも確認することが出来る。常に表情、行動、言動、体調等確認している		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来ていると思。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る事や、役割を把握し、そういった場面を作れるように努めているが、出来ない方が多いのでレクの提供で気分転換の支援をしている	出来る事をしてもらうのは良いと思います。資料の写真を見ても楽しそうにしている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	過ごしやすい季節には散歩に出かけたり、一部の利用者は家族と外出されることもある	以前ほど外を歩く姿が見られないが急に寒くなり、仕方ないと思う。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在自分でお金を所持されている方は1名。たまに買い物に行っている。介護度も上がり使える方は、少ない			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望があれば、対応している			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安全に生活出来るように工夫している。季節の壁画や、写真を貼り楽しんでもらっている		①. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節に添った壁画を利用者と一緒につったり、写真も貼っているので出来ている。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分の思いや願いを伝えられる利用者は少ないが、伝えられる方へは支援している			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一部の方は、家族と外出し、家に帰ったり、知人が面会に来られている			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	①. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医の往診、訪問看護ステーションからの、健康チェック等、急変時の対応も出来ている		①. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医や訪問看護との協力体制が出来ている様なので、支援を受けることが出来ていると思う。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホールでテレビを観ながらゆっくり過ごしたり、居室でおやつを食べながらテレビを観たり、昼寝をしたり好きなように過ごしている			
44		生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室には、テレビ、家族の写真、ぬいぐるみ等置いている		①. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一部の方は家族対応でたまに外出されるが、介護度も高く、自分の意向、希望は無い。地方際の参加は全員している	地方際の参加が出来ているので、出来ていると思う。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯物たたみやお盆拭き、カレンダーめくり等出来る方への役割はあるが出来ない方はスタッフが付いて介助している			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	軽作業やレクの参加、スタッフとの会話で日々の暮らしの中で穏やかに生活している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	レクリエーションをしたり、馴染みのスタッフと会話をして穏やかに過ごして欲しいです。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一部の方のみ近隣の方の面会はあるが、あまり交流は出来ない	施設に入ると仕方ないのでは。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日同じ環境で、馴染みのスタッフと過ごすことで安心して生活が出来ている	入所前からの馴染みの職員がいたり、地域の職員が多く、安心できるのではないかと思います。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議での写真資料などを見て、利用者様の様子や表情などから、出来ていると思う。